

講演テーマ

インプラント周囲軟組織について考察する

「Peri-implantitis」インプラントの術後合併症としてこの数十年間これほど話題に上がり続ける疾患はない。現在インプラントを用いた欠損補綴は、臼歯部欠損特にすれ違い咬合などの欠損形態に非常に有効であることは間違いない。さることながら、インプラントが存在しない口腔内には発現しない疾患である以上、医原性疾患ではないかと考えるむきも理解できる。インプラントの歴史の中で周囲炎の発現は、インプラント治療適応症の見直し、歯周疾患との関連づけ、それに基づいた様々な治療法など、周囲炎の病因、病態の特徴により治療法が考案されてきた。しかしながら、依然として確固たる治療法、及び予防法はないと考える。我々の歩むインプラント治療の行く末は、国民の口腔の健康に寄与できるのであろうか。

そこで今回は、インプラント治療の長期安定性を得るべく、生体側のインプラント周囲の防御機構を司る特に軟組織の組織解剖とその役割を学ぶため、お二人の先生を招聘しご講演いただきます。

ぜひ、皆様のご参加をお待ちしております。

先着
40名

講師

あつた

いきる

熱田 生 先生



講師

なめた

よしのり

行田 克則 先生



日時

2017 10/8(日)

9:00~16:00 (受付開始8:30)

お申込み方法は裏面をご確認ください。

会場

御茶ノ水駅周辺

お申込みされた方に別途ご案内いたします。

受講料

15,000円

お問い合わせ先

東小金井歯科 岩田 卓也
FAX : 042-384-3904

E-mail : takuya.i.d@gmail.com

講演テーマ インプラント周囲軟組織について考察する

プロフィール

あつた いきる
熱田 生先生



2001年3月九州大学歯学部歯学科卒業
2005年3月九州大学大学院歯学府歯学専攻博士課程修了
2005年4月九州大学歯学部病院 研修医
2005年12月九州大学大学院歯学研究院 口腔機能修復学講座咀嚼機能再建学分野 助教
2010年3月南カリフォルニア大学 / 顎顔面分子生物学研究所(USC/CCMB) (米国) 博士研究員
2012年4月九州大学大学院歯学研究院 口腔機能修復学講座インプラント・義歯補綴科 助教

なめた よしのり
行田 克則先生



1982年日本大学歯学部卒業
1986年日本大学歯学部大学院卒業
1986年日本大学歯学部非常勤講師 日本顎咬合学会編集委員
1988年上北沢歯科開業
1991年日本補綴歯科学会評議委員
1994年日本顎咬合学会常任理事
1998年奥羽大学歯学部客員教授

2009年四谷三栄町歯科開業

2012年日本大学歯学部佐藤賞受賞

2016年日本大学歯学部臨床教授

所属学会日本顎咬合学会 日本補綴歯科学会 日本歯科審美学会 日本口腔インプラント学会

The Academy of osseointegration

お申し込み先

FAXでの申し込みはこちらの用紙をご利用ください。

フリガナ

氏名 _____ 生年月日 _____ 年 月 日

診療所名 _____ 役職 _____

〒 _____
住 所 _____

電話番号 _____ FAX番号 _____

メールアドレス _____ @ _____

※定員 先着40名 ※記載していただいた個人情報は、目的以外に流用いたしません。
※事業の状況写真をホームページ等に掲載させていただく場合がございますので、ご了承ください。

締切:平成29年8月31日(木)

宛先:東小金井歯科 岩田 行き

FAX:042-384-3904